

くりんく

『くりんく』とは“栗原をリンクする”の意味。
Link リンクとは、つなぐこと。連結すること。連鎖。

発行:栗原市在宅医療・介護連携支援センター

住所:栗原市築館宮野中央三丁目 1 番地 1

TEL:0228-21-5357

FAX:0228-21-5358

メール:zaitaku@kam.or.jp



在宅センター
ホームページ
QR コード

うらかな春の日差しが心地よい季節となりました。さて、今回のくりんく第 19 号は、令和 6 年度後半(令和 6 年 12 月から令和 7 年 3 月)の事業報告と年間実績についてご報告いたします。今年度も医療と介護の専門職者が連携深化できますよう事業を展開してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療の知識を深めよう！令和 6 年度医療勉強会

医療職と介護職が互いの専門性や知識を語り合い、医療の知識を深める『医療勉強会』のご紹介をいたします。各回のアンケートには、「毎月の医療勉強会をとても楽しみにしている」という感想をいただき、主催者としてもうれしい限りです😊医療の知識を得ることで医療職者との連携が円滑になるよう、今年度も引き続き開催しますのでどうぞご期待ください。ご参加をお待ちしています。

第 8 回

(12/17 開催)

テーマ『感染症』

参加人数 97 名

【講師】

栗原市立栗原中央病院

感染管理認定看護師

上野賀子様



第 9 回

(1/21 開催)

テーマ『認知症』

参加人数 66 名

【講師】

みやぎ認知症応援大使

遠藤 実様(上段左)

奥様の麻由美様(上段右)

【コーディネーター】

やまと在宅診療所栗原

認知症サポート医 三田貴士先生(下段)



第 10 回

(2/18 開催)

※ハイブリッド開催

テーマ『口腔ケア』

参加人数 64 名

【講師】

栗原市歯科医師会顧問

三浦歯科医院 院長

三浦満雄先生(左)

三浦歯科医院 歯科衛生士

佐々木弘美様(右)



第 11 回

(3/18 開催)

テーマ『結核のキホン』

参加人数 40 名

【講師】

栗原市立栗原中央病院

呼吸器内科部長

宇佐美 修先生



令和 6 年度意思決定する人の支援者としての自分を深めよう—いしふか—

意思決定する人の支援者としての自分を深めよう(いしふか)の第 4 回目を、2 月 6 日(木)栗原中央病院講義室にて開催いたしました。『介護施設で最期までケアすること』をテーマに、グループホーム SAKURA 管理者 梅宮将様にご講話をいただきました。お話の中の動画では、入居者様と梅宮様の日常が垣間見られ、これから先の人生をどのように生きたいかについても触れていました。このような会話ができるのは、普段から家族のような信頼関係が構築できているからだと感じました。講話後は令和クリニック 院長 斉藤揚三先生、やまと在宅診療所栗原 院長 土屋菜歩先生をパネリストにお迎えし、パネルディスカッションを行いました。参加者全員に『いしふか賞』の賞状を進呈させていただき、『全 4 回のいしふか』を締めくくることができました。



グループホーム SAKURA 管理者 梅宮将様(左)
令和クリニック 院長 斉藤揚三先生(中央)
やまと在宅診療所栗原 院長 土屋菜歩先生(右)



斉藤先生、土屋先生、梅宮様には、感謝状をお渡ししました。

令和6年度第4回さざほざの会 テーマ『お家へ帰ろう』 参加者31名

3月5日(水)、栗原中央病院講義室にて第4回さざほざの会を開催いたしました。栗原市在住 高橋由利様を講師にお迎えし、ご家族を自宅で看取った経験をお話いただきました。診療に携わった医師からは「告知を受けてから亡くなるまで約2か月半。こんなに短い時間だった？と思うほど、濃い時間だった。いろんな職種が関わることで、家族の支えがあって最期まで過ごすことができたのだと思う。」という感想をいただきました。

高橋様のお話の中で「弟に直接は関わらなかったが、在宅支援チームの外にいて連携してくれた方もいた。自宅で過ごす事を支えてくれたチームの支援の先に、弟の幸せな死があったと感じている。」という言葉が深く心に残りました。今後の在宅支援チームへの熱いエールを頂いたと感じた講話でした。



講師の高橋由利様
当日は『支えたチーム』
の皆さんもご参加くだ
さいました。

令和6年度在宅センター事業実績のご紹介！！ ※R7.3.21 現在

1.相談実績…71件

【相談内容内訳】

- *講師派遣依頼…23件
- *医療・介護ケア…6件
- *施設の情報提供依頼等…2件
- *病院の情報提供依頼等…5件
- *その他…35件(オレンジサポーターについて、訪問薬剤管理指導の指示書の期日について等)



2.在宅センター主催研修会開催実績…21件

- *医療勉強会…11回
- *意思決定する人の支援者としての自分を深めよう(いしふか)…4回
- *さざほざの会…4回
- *市民公開講座…1回
- *多職種交流会…1回



3.出前講座実績…30件

*市民向け出前講座……………22件

【主な内容】

マイストーリー講座、健康講話等

*専門職者向け出前講座…8件

【主な内容】

接遇研修、看取りについて等



市民向けの出前講座の様子(左)と、市内中学校のキャリアセミナーでの講話の様子(写真中央：看護師、写真右：薬剤師)

一般社団法人名取市医師会 名取市医療・介護連携支援センターに視察に行ってきました！

3月13日(木)、名取市医療・介護連携支援センターに視察に行ってきました。相談員の高橋雄太さんにご対応いただき、それぞれのセンターの取り組みや、地域課題などについて情報交換を行いました。名取市支援センターは市民への普及活動の取り組みとしてコミュニティ FM など活用しています。なとらじ 801『おしえて！高橋さん～医療と介護のエトセトラ～』というコーナーに千葉所長が出演し、当センターの特徴や栗原版エンディングノートの紹介など、たっぷりPRしました😊放送時間等は在宅センターのホームページをチェック！両市とも医療と介護の連携推進ため、工夫を凝らしながら事業を展開しているところに共感しあい、ヒントをもらいました。



名取市支援センター
高橋さん(左奥)と、
番組パーソナリティの
佐々木さん(左手前)
と、ラジオ収録の様子。

ご対応くださった高橋さん、パーソナリティの佐々木さん、ありがとうございました。



【編集後記】当センターの出前講座に「エンディングノート講座」があります。約千名以上の方々に手に取っていただきました。書いても書かなくてもいい、だけど自分のこれまでとこれからを考えるきっかけになってほしい。だからエンディングノート講座の成果は数値化できません。私たちの連携は、誰のためになんのためにあるのでしょうか。原点に返ってのスタートです。